



宮崎県延岡市

DXとGXの両輪によるもっと豊かに、もっと元気に、もっと明るく、もっと安全・安心に、働き、学び、暮らせるまちづくり～「一人ひとりが主役」の時代をつくる～





延岡市の最近のSDGsの取組（例）

- ・脱炭素型モビリティ・空飛ぶクルマによる「一人でも多くの命を救う」プロジェクト
- ・官民合同の「ゼロカーボンシティ宣言」と「脱炭素先行地域」選定
- ・全国初・稲作ロボットによる脱炭素型農業の推進
- ・「里山塾」による人と動物が共生できる里地・里山づくり
- ・旭化成(株)や地元中小企業の連携による「Jクレジット」による産業の脱炭素化推進
- ・年中無休の「なんでも総合相談センター」によるワンストップで「誰一人とりのこさない」行政
- ・オンライン上の不登校特例校による「誰一人とりのこさない」学びの推進
- ・「100人市民会議」による長期総合計画策定



自治体SDGsモデル事業の概要

経済 (DX)

- ・「デジタル団地」によりIT企業誘致
- ・自然豊かな所にワーケーション誘致
- ・スマート農林水産業・スマート製造業の推進
- ・「誰一人取り残さない」延岡独自の学習を推進
- ・市民参加型GISクラウドサービス構築事業
- ・オンデマンド交通導入事業

社会 (ひと)

- ・のべおか健康マイレージ事業
- ・「延岡方式」による介護予防事業
- ・はらはらわくわくふるさと体験隊
- ・社会人講師によるキャリア教育
- ・延岡こども未来創造機構によるプロジェクト

環境 (GX)

- ・祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業
- ・PPAによる太陽光最大導入
- ・省エネ改修の徹底実施、地元林産材の活用
- ・CO2削減の見える化・エネマネ
- ・カーシェアリング、EV充電スタンド、シェアサイクル
- ・加速度的EV利用促進
- ・乗合タクシー・循環バスEV化

- ・スマートシティ政策で都会との格差をなくす

- ・国立循環器病研究センターと連携した健康長寿の推進
- ・多様な学びの場の創出による「人間力」の育成

- ・生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）
- ・住宅地のカーボンニュートラルによる再生と強靱化モデル

+

+

+

三側面をつなぐ統合的取組

- ・地域通貨「のべおかCOIN」による市民の行動変容及び「Jクレジット」による企業の脱炭素推進
- ・“行動する市民”を育てるための普及啓発(補助対象事業)

DX・GXの両輪により、一人ひとりが主役のまちをつくる。

モデル事業の三側面の取組①

経済(DX)

政府のスマートシティ関連事業に選定(R3)
デジタル田園都市国家構想推進交付金採択(R4)



DX拠点「延岡駅西口街区再開発ビル」

- ・コワーキングスペースとIT企業誘致フロアを整備。
- R3年度以降、IT企業4社入居



自然豊かな所にワーケーション誘致

- ・インターネット環境整備
- ・宿泊費・交通費の助成制度創設



スマート農林水産業の推進

- ・温度・湿度等を自動制御、ロボット稲作
- ・自動運転田植機、分娩監視装置(畜産)、捕獲ワナシステム(林業)導入支援等



オンデマンド交通導入事業

- ・住民一人一人の需要に応じて運行する乗合型タクシー。自由度が高く自宅近くから目的地までドアトゥドアで移動できる。



スマート製造業の推進

- ・総務省「地域デジタル基盤活用促進支援プロジェクト」に選定され、ローカル5GやWi-Fi等を活用したスマート製造業の推進に向けた計画を策定。スマートグラスを活用した遠隔支援の導入を検討中。



市民参加型GISクラウドサービス構築事業(公開型・統合型GISの導入)

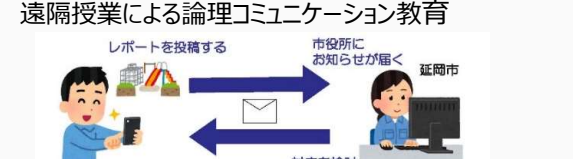
公開型地理情報システム「のへあかeマップ」

- ・市民や企業等がインターネットを通じて無料で活用できる公開型GISを導入。防災情報、子育て情報、医療・福祉情報、都市計画情報等が地図上で閲覧できる。



「誰一人取り残さない」延岡独自の学習を推進

- ・慶應義塾大学SFC研究所と連携した同時双方向遠隔授業による論理コミュニケーション教育



市民が情報を投稿「延岡市民レポート(のべレポ)」

- ・道路、ガードレール、側溝等の損傷、街灯球切れ、遊具の破損等、異常を見つけた際、市民がスマートフォンやタブレット等から市の担当課に通報できる双方向サービスを導入。

人への投資・市独自の人材育成

延岡ITカレッジ 開講(令和4年12月)

・企業に求められるデジタル人材の育成を目的とした延岡市独自の人材育成事業である「延岡ITカレッジ」がスタート。「企業の従業員コース」、「キャリアアップコース」、「高校生・大学生コース」の3コースを4カ月間実施。



モデル事業の三側面の取組② 社会(ひと)

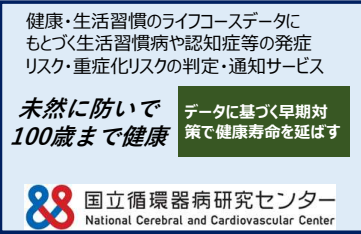
「学校」「地域」「家庭」と連携し、延岡ならではの人間力を育む新たな担い手の存在として「**延岡こども未来創造機構**」を設立(R4)



のべおか健康マイレージ事業
健康づくりに若年層や壮年層を引き込むための新たなアプローチとしてアプリを構築。登録者数は1万800人以上(R5年1月末)



「延岡方式」による介護予防事業
日常生活圏域ごとの公共交通を活用して通うことのできる拠点において、介護予防講話や簡単な体操等を行う介護予防教室を開催。



健康・生活習慣のライフコースデータにもとづく生活習慣病や認知症等の発症リスク・重症化リスクの判定・通知サービス

未然に防いで100歳まで健康 データに基づく早期対策で健康寿命を延ばす

国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center



「自分の足で100年歩ける健康長寿のまちづくり」
国立循環器病研究センター、(株)旭化成と連携し、骨粗しょう症予防の観点から市民の更なる健康増進を図る。高校への出前授業や健康イベントによる周知啓発を実施。

国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center



社会人講師(よのなか先生)によるキャリア教育
地域の大人が「働くことの意義」や「働く喜びと苦勞」を語り、地域の課題解決に取り組んでいる生の姿を見せることで、地域で働き・暮らすことの魅力を伝え、子ども達の「生きる力」を育む。



はらはらわくわくふるさと体験隊
豊かな自然や歴史・文化、産業資産を活用し、子ども達にはらはらわくわくと心と体を動かす体験機会を提供することで、地域愛を育むとともに、集団活動体験を通して規律や協調性を身に付ける。



NPO法人学校支援のべおかはげまし隊
地域住民と連携する「地域学校協働活動事業」の一環として、「はげまし隊」による授業支援活動により、教育環境の充実や学力向上を図る。

・国立循環器病研究センターと連携した健康長寿の推進 ・多様な学びの場の創出による「人間力」の育成

全国初・一般社団法人「延岡こども未来創造機構」による「もう一つの学校」



STEAM学習



自然体験活動



プレーパーク



論理コミュニケーション



夢の教室



イングリッシュキャンプ

モデル事業の三側面の取組③

環境(市民生活のGX)

環境省「脱炭素先行地域」
選定(R4)

高度経済成長期を支えた住宅地の カーボンニュートラルによる再生・災害に強いモデルを全国へ (脱炭素先行地域：宮崎県延岡市一ヶ岡地区《5,223 人在住、高齢化率 40%》)

民生部門の電力削減の取組み

要件①-1(民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現する取組)

- 1 脱炭素先進エリア整備
市営住宅再編(A,B,C団地)による余剰地にテレワーク・シェアオフィス併設、ZEB条件事業所向け分譲地、公用車カーシェアやZEB子育て支援施設整備、EV充電スタンドなどを整備
- 2 脱炭素型での市営住宅再整備(PFI方式)
- 3 既存市営住宅等への太陽光発電設備・蓄電池導入
- 4 一ヶ岡下水処理場のカーボンニュートラル化
- 5 街灯・防犯灯、公共施設のLED100%化とRE100化
- 6 地域新電力会社設立(幸FITやRE100活用も検討)
再エネ・蓄電池+EMS整備により
災害時、大手電力会社の送電網が停電しても、再エネ網で早期に送電開始可能
⇒脱炭素と同時に災害対応力強化
- 7 再エネ・蓄電池費用やZEH・ZEB費用など
国補助の協調補助
- 8 市民の「脱炭素行動」に確実につなげる地域通貨
(のべおかCOIN)
地域通貨”のべおかCOIN”(R3.8月にスタートした地域通貨)に
CNポイント(カーボンニュートラルポイント)を追加
- 9 エアコン買い替えや断熱改修など
脱炭素につながる消費への補助
- 10 GHG排出量の見える化
市民一丸となった取組み
⇒脱炭素の早期達成、市内類似団地、
さらには全国への展開へ

民生部門の電力削減以外の取組み

要件①-2(地域特性に応じた温暖化対策の取組)

- 1 乗合タクシー(現在3路線)のEV車化
- 2 市民向けカーシェア
+EV充電スタンド+シェアサイクル
- 3 EV車・FCV車費用の国補助の協調補助
- 4 免許返納時に多くポイント付与で
脱マイカー推進
- 5 エリア内循環EVモビリティ
- 6 家庭用コンポスト補助拡大及び
市民農園利用促進
- 7 都市ガスのカーボンオフセット
- 8 「空飛ぶクルマ」による救急救命率向上
- 9 地元林産材での省エネ改修に対し補助

「空飛ぶクルマ」離発着場
救急車とのランデブーポイント
救急医療病院までの渋滞を克服
充電設備も設置

消防南分署

乗合タクシー

太陽光発電設備
蓄電池導入

市民農園

脱炭素先進エリア
カーシェアなど

一ヶ岡小学校
(PPA)78kW

ZEH-M
市営住宅

赤枠内面積89ha
→ 太陽光発電
ポテンシャル最大4.5MW

延岡市全域

延岡市役所
県立延岡病院

機能的な渋滞エリア

一ヶ岡
(ひとつがおか)

※エリア内の塗りつぶし範囲は市営団地敷地(A~E)
※「空飛ぶクルマ」とは、国内外で研究開発や法整備が
進められている、主に「電動」「自動」「垂直離着陸」
を特徴とした次世代モビリティシステム

「脱炭素先行地域」の認定を契機とした 脱炭素ドミノを展開する！

乗合タクシー・循環バスEV化

地元林産材の活用

カーシェアリング

EV充電スタンド

シェアサイクル

エネルギー管理

PPAによる太陽光最大導入

その他、CO2削減の見える化、省エネ改修の徹底実施、住民や事業者の加速度的EV利用促進 など

モデル事業の三側面の取組③

環境(地域産業のGX)

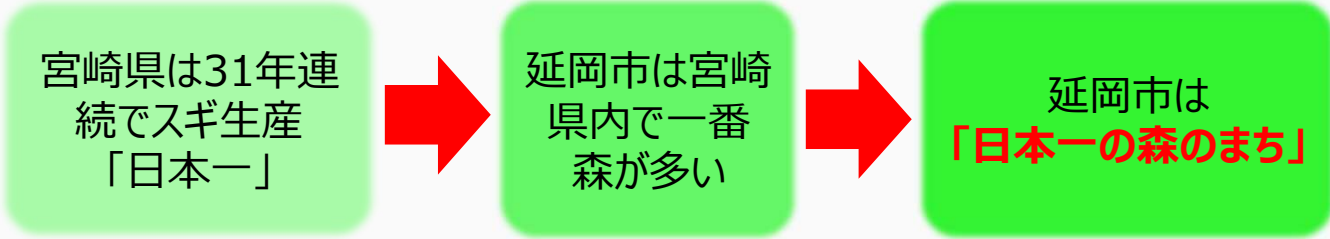
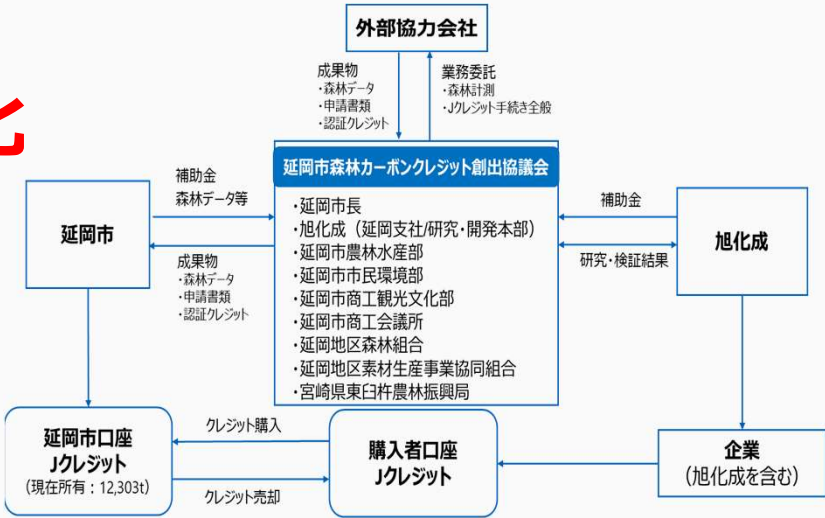
延岡市の先進的な取り組み！

1. 「森林所有者費用負担ゼロ」による再造林の推進

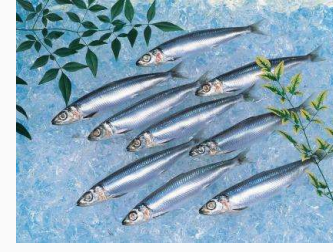
延岡市は、**企業版ふるさと納税を活用**し、「森林所有者費用負担ゼロ」で再造林を進めています。
(以前は国51%・県24%・市8%・森林所有者等17%負担だった)

2. J-クレジット化促進による更なる脱炭素化

延岡市は、**旭化成(株)様や市内経済界などと共同**で協議会を設置しました。



モデル事業の三側面の取組③ 環境(GX) ユネスコエコパーク登録(H29)



ユネスコエコパークの山々

清流

鮎やな

水力発電ダム

下阿蘇海岸

ウルメイワシ

豊かな山々からきれいで栄養分豊かな川が海にそそぐ ※五ヶ瀬川10年連続水質日本一

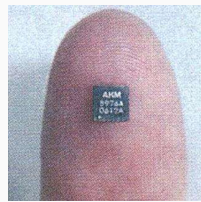
- 水質九州 1 の海水浴場
- 漁獲高全国 7 位の豊かな海(イワシ日本一)



川が製造業を育む（旭化成(株)創業100周年）



工業界で用いられる苛性ソーダ
(世界シェアNo. 1)



スマートフォン等に内蔵
される電子コンパス
(世界シェアNo. 1)



中空糸と、それから作られるウイルス
除去透過膜 (世界シェアNo. 1) や
人工透析膜



リチウムイオン 2 次電池のセパ
レーター (世界シェアNo. 1)



ベンベルグやキュブラ等の衣料用化学繊維

- デジタル化で暮らし・産業を豊かに + 安全・安心を高める
 - 脱炭素のまちづくり + 暮らし・産業のValue Up + シビックプライドを育む
- ※「企業から選ばれるまち」になるか、「選ばれないまち」になるか、**正念場**

三側面をつなぐ統合的取組

行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業



市民の健康に寄与する活動、ボランティア活動、SDGsに貢献する行動、健康づくりに関する行動等に対してポイントを付与しながら、市民のまちづくりへの参画と行動変容を促すキャッシュレスプラットフォーム。

・登録者数 … 23,508人
 ・加盟店舗数 … 496店舗
 ・取引額 … 約23億1千万円
 （電子マネーチャージ額 約10億9千万円）
 （消費額 約12億2千万円）

※ R 5 年 3 月末時点

デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ（TYPE I）認定（R 5 ～）

自立分散型システム（ナーブネット）を活用し入手した個人情報を用いて地域住民や関係人口の満足度向上に向けたOne To One（個別最適化）の情報提供サービスの機能を追加

（1）アンケートに同意した出張者や観光客に対してポイントを付与し「外貨」を獲得する事業

- 関係人口：関心に応じて、飲食や買い物の情報やふるさと納税、移住、企業誘致等の情報を双方向でやりとりした上で地域通貨（のべおかCOIN）をポイント付与（500円分）。

（2）地域住民に対して各種イベント情報、行政情報（子育て情報、教育情報等）を個別に提供



インセンティブ付与により、地域通貨「のべおかCOIN」新規登録者数の更なる増加（市民+関係人口）を目指す！



三側面をつなぐ統合的取組（補助対象事業の概要）

<本市の特徴>

市民の実行力★★★★★

過去に地域医療崩壊の「危機」を市民の強い団結力で一致協力して乗り越えてきた実績や旭化成OB等のNPOが理数科目の教育サポートを行っているなど、市民の当事者意識や協力意識は非常に強い。

「理系のまち」の高いテクノロジー受容性★★★★★

日本で初めて合成アンモニア生成した「化学産業発祥のまち」。企業城下町の歴史により、市民の新しいテクノロジーに対する受容力が高い。

“行動する市民”を育てる

機運醸成

- ・(仮称)ワールドカフェ
- ・講演会(市民向け)
- ・ピンバッジ(市民・職員向け)

プロモーション

- ・「SDGs未来都市」P Rポスター
- ・SDGsガイドブック
- ・駅前大型デジタルサイネージ広告
- ・横断幕・のぼり旗
- ・マスメディア、広報誌、SNS 等

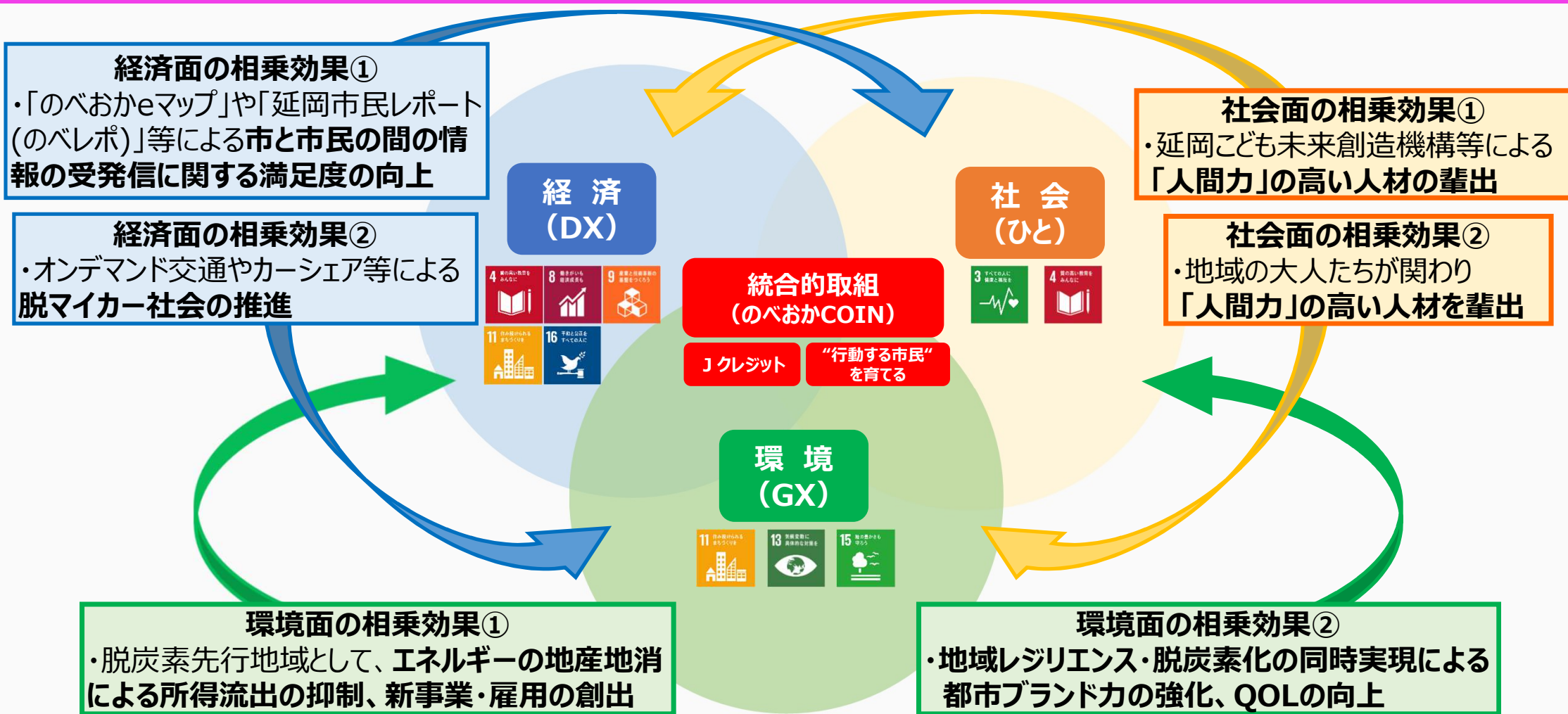
人材育成

- ・SDGsシンポジウムへの視察研修
- ・講演会（職員向け）





経済・社会・環境の各側面の相乗効果





相乗効果を確認かなものにするために既に行っているプロジェクト

令和4 + 5年度(新規)

デジタル田園都市国家構想交付金

交付金交付額 (広域連携事業を除く)

全国 第3位 (九州 第1位)

単位:千円				
順位	自治体名	デジタル実装タイプ	地方創生推進タイプ(新規)	合計
1	群馬県前橋市	1,008,169	18,000	1,026,169
2	北海道河西郡更別村	825,137	118,865	944,002
3	宮城県延岡市	650,897	97,115	748,012
4	茨城県猿島郡境町	695,144	0	695,144
5	神奈川県小田原市	655,152	0	655,152

<国の交付金ベース/内閣官房・内閣府総合サイト公表資料より算出>

令和4年度

- ・誰一人取り残さないポータルアプリの構築～交流人口・関係人口も拡大～ (デジタル実装タイプ(TYPE1))
- ・脱マイカー社会推進のためのオンデマンド交通導入事業(デジタル実装タイプ(TYPE1))
- ・安心と温もりのG I Sクラウドサービス構築事業(デジタル実装タイプ(TYPE1))
- ・「空飛ぶクルマ」を見据えた救急医療システム“Qaas”(救急 as a Service) (デジタル実装タイプ(TYPE2))

令和4年度補正予算

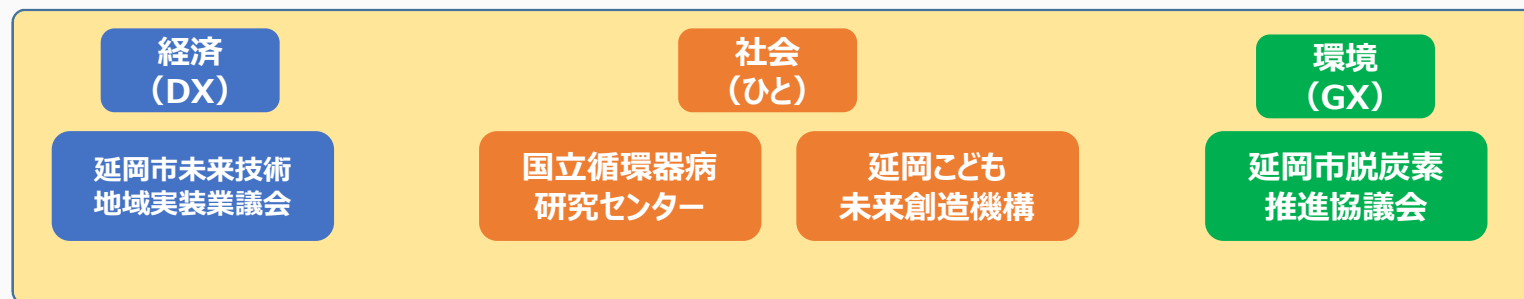
- ・のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した「行かない市役所」構築事業(デジタル実装タイプ・マイナンバー利用横展開事例創出型)
- ・平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるWel-beingの実現(デジタル実装タイプ・優良モデル導入事業型(TYPE1))

令和5年度

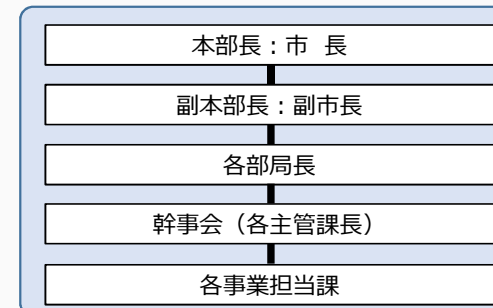
- ・「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業(地方創生推進タイプ・Society5.0型)
- ・「自然といのちを大切に作る地域づくり」による移住・交流人口増促進事業(地方創生推進タイプ・横展開型)

自立的好循環の具体化に向けた事業の実施

< モデル事業推進体制 >



< 延岡市SDGs推進本部 >



（仮）のべおかSDGsネットワーク

